



ひ た よ ら ん

第1回定例会	2
3月2日から16日までの15日間 令和5年度予算を議決	
第1回臨時会・第2回臨時会	8
一般質問 ここが聞きたい(9人)	10
委員会活動報告	15
町のこの人あの人	16
人生に、友あり、歌あり、笑いあり “和顔愛語”	

河原地区

にしで にしで てるよし
西出 輝好 さん



「エードッコイ」上大井三嶋神社祭禮前夜祭

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

令和5年度当初予算

一般会計	59億5,000万円
国民健康保険特別会計	15億7,000万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,500万円
介護保険特別会計	13億5,000万円
水道事業会計	5億4,400万円
公共下水道事業会計	6億7,500万円
合計	103億6,400万円

令和5年度 当初予算を議決

第1回定例会

令和5年第1回定例会は3月2日から16日までの15日間を会期として開催され、条例や請願をはじめ、一般会計、特別会計及び企業会計の補正予算や令和5年度当初予算を審議した。

初日は、町長から施政方針が示され、つなごう！大井未来計画の着実な推進・「今後の発展を見据えた」施策・事業の展開

- ・新型コロナウイルス感染症対策等

- ・カーボンニュートラルの実現及びデジタルトランスフォーメーションの推進

- ・財政の安定

の5つの視点に重点を置いた予算編成の考え方と事業の概要が述べられた。

その後、2日間にわたり行財政全般に及ぶ一般質問を9人が行い、町の考えを質した。

週明けの6日には、条例や補正予算などの審議を行い、9日には付託された請願について「企画経済常任委員会」で審査を行った。10日には、提案された全会計の令和5年度当初予算の質疑を行い、13日・14日の2日間は、「予算審査特別委員会」を設置し、さらに詳細な審査を行った。

最終日の16日には、一般会計をはじめ、すべての会計の採決や請願の採決などを行い閉会した。

学校給食センター施設整備事業



新年度予算に係る現地視察

議会では、2月20日（水）に新年度に予定されている工事箇所の現地視察を実施し、町担当者から説明を受けた。

第1分団待機宿舍設計委託事業



ゆめの里整備事業



大井第二幼稚園整備事業



予算審査ダイジェスト

施政方針

問 令和5年度の予算を編成するにあたり最優先課題は。

答 子育て環境の充実、未来に向けたカーボンニュートラルの実現、DXの推進である。

問 ツイッターの運用開始時期は。

答 令和5年4月1日から運用を開始し、4月3日に初投稿する。

問 「自分ごと」として考えることができる、まちづくりに関わりやすい状況を創り出すための仕組みとは。

答 自治会担当制度を活用し、町民と情報を共有できる場所を創っていききたい。

問 ゆめバスのシルバーパスについて内容は、75歳以上が対象で、申請方式による。5月から開始する。

問 消防団の団員確保策として事業所表示制度の有効性は。

答 令和4年度は予算措置をしていたが実績がなかった。活用出来るよう取り組む。

問 使用済み紙おむつのリサイクルについて考えは。

答 令和5年度の予算としては計上していないが進め方を検討している。令和6年度に実行できるように取り組んでいきたい。

問 都市計画画道路金子開成和田河原線の完成予定は。

答 令和10年度の完成を目指している。

問 御殿場線のアンダーパスの完成時期は。

答 令和6から7年度に西側、令和8から9年度に東側が完成予定。

問 ファミリーサポートセンターの利用料減免の内容は。

答 生活保護、非課税世帯に対して月額4200円を上限に減免する。

問 ゆめの里を持続可能な里山へ再生する目的は。

答 今後どう活用していくか課題。20年、30年後には、自然学習の場や観光の名所になるよう推進していく。

問 産婦人科医療相談を本格導入した理由は。

答 試験導入の結果は好評であり、夜間・休日いつでも相談できる体制ができるため。

一般会計

組織管理

問 当日投票システムを導入するメリットは。

答 人件費はもとより、人為的なミスの解消、時間短縮などのため。

問 光熱水費が高騰する中、予算額も増額しているが、庁舎内の対策はあるのか。

答 削減に向けて職員に周知をしていく。

問 指定金融機関派出所の増額要因は。

答 行員の派出業務に關して、令和5年7月から人件費相当を負担することになった。

問 光熱水費が高騰する中、予算額も増額しているが、庁舎内の対策はあるのか。

答 削減に向けて職員に周知をしていく。

問 指定金融機関派出所の増額要因は。

答 行員の派出業務に關して、令和5年7月から人件費相当を負担することになった。

行政運営

問 国有資産等所在市町村交付金に係る県有地とは。

答 3月31日時点では旧いこいの村の県有地

であるが、今後は減額となる見込み。

問 ゆめバス運賃の収入が減額計上されているが。

答 高齢者の無料パスを開始するため。

問 地方消費税交付金の増額要因は。

答 実績から推計した結果である。

問 水環境保全・再生市町村補助金の増額要因は。

答 地下水モニタリングに係る機器の更新分である。

問 旧いこいの村施設を利用して法人へ

問 滞納整理業務に預貯金調査システムを導入した目的は。

答 デジタル化により情報の迅速な入手ができるため。

問 プライバシーの保護は。

答 安全性は確保される。

問 行政評価外部委員会委員の報償費の内訳は。

答 代表自治会長3名、学識経験者1名、行政相談員1名の計5名で会議を3回行う予定。

問 滞納整理業務に預貯金調査システムを導入した目的は。

答 デジタル化により情報の迅速な入手ができるため。

問 プライバシーの保護は。

答 安全性は確保される。

問 行政評価外部委員会委員の報償費の内訳は。

答 代表自治会長3名、学識経験者1名、行政相談員1名の計5名で会議を3回行う予定。

問 滞納整理業務に預貯金調査システムを導入した目的は。

答 デジタル化により情報の迅速な入手ができるため。

問 プライバシーの保護は。

答 安全性は確保される。

問 行政評価外部委員会委員の報償費の内訳は。

答 代表自治会長3名、学識経験者1名、行政相談員1名の計5名で会議を3回行う予定。



町の観光資源「おおいゆめの里」

問 公債費が年々増加しているが、今後の償還見込みは。

答 返済のピークは令和7年度で2億7100万円ほどが見込まれる。

戸籍・協働

問 引越しワンストップ支援サービスの導入効果と実施時期は。

答 利便性の向上が図られる。開始は10月を予定している。

問 マイナンバーカードの交付状況と今後の対応は。

答 交付率は県平均を上回っている。今後とも休日・夜間の申請・交付受付に努める。

健康・福祉

問 敬老の集いに関する予算が計上されていないが、廃止した理由は。

答 コロナ禍において3年間実施していない

こともあり、事業を整理した結果である。

問 障害者福祉計画策定にあたり、当事者の声を反映する考えは。

答 アンケートをはじめ、団体からもヒアリングを実施し当事者の視点を取り入れていく。

問 小田原市休日夜間急患診療所運営費負担金の内容は。

答 利用実績により小田原市より依頼があった。令和3年度は年間134人が利用している。

問 視覚屈折検査の費用の内訳は。

答 年間6回、3歳6か月検診で1回あたり2万7500円。

問 機器購入ではなく委託にした理由は。

答 メンテナンスや機器の取り扱い等、技術面を考えて委託とした。

予算審査特別委員会



令和5年度予算審査に際しては、議長発議により特別委員会が設置された。企画経済と教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され、3月13日・14日の2日間にわたり詳細な審査を行った。また、今回の審査においては、付託された全会計を一括し、施策を「組織管理」「行政運営」「戸籍・協働」「健康・福祉」「生活・経済」「社会基盤・安全対策」「教育・文化」の7部門に分けて審査を行った。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 牧野 一仁 |
| 副委員長 | 鈴木 磯美 |
| 委員 | 清水 豊司 |
| 委員 | 伊藤奈穂子 |
| 委員 | 岡田 幸二 |
| 委員 | 和田 紀昭 |
| 委員 | 重田 有紀 |
| 委員 | 大石 舞 |

生活・経済

問 環境施策における今後の事業展開は。

答 令和5年度策定の地球温暖化対策実行計画において具体化される。

問 環境展が毎年開催となるが、相応する予

問 観光施設用地賃借料155万円の内容は。

答 旧いこの村が民間運営になったことによる賃借料。

問 広域ジビエ処理加工施設での販路は。

答 上郡5町で新たな協議会を組織し今後検討していく。

問 民泊受入家庭確保促進補助金は新規のみの対象か。

答 これまでの受け入れ家庭も対象とする。

問 里山再生整備委託料でナラ枯れの伐採は何本の予定か。また、実施時期は。

答 4月から5月で220本を予定している。

問 観光振興基本計画の策定を委託にした理由は。

答 町の資源を客観的に評価するため、民間事業者の力を借りる必要がある。

社会基盤・安全対策

問 遊具等定期点検委託料の内容は。

答 中央公園等の遊具の点検で、年1回の実施のための予算である。

問 公園の休憩所に管理人などを配置する考えは。

答 今後状況を見ながら、必要に応じて警備員の配置も検討する。

問 防災備蓄品購入費の内訳は。

答 アルファ米、レトルトご飯、液体ミルクを購入予定。

問 防災行政無線保守点検委託料の増額理由は。

答 本体のハードディスクの交換時期と、篠窪中継局のバッテリーの交換が主な要因。

問 第1分団待機宿舎設計委託料について、どのような考えで建て替えを実施するのか。

（この質問に対する回答は本文には記載されていません）



総合体育館トレーニングルーム

答 敷地の有効活用や建築年数も経過していることから建て替える。

教育・文化

問 総合体育館のトレーニング器具賃借料の減額理由は。

答 リース期間が終了し再リース契約になったため。

問 電気料金が高騰しているが、社会施設の使用料の値上げを考えているか。

答 急激な光熱費の値上げにより財政面を圧迫している。利用者の

意見等を聞きながら慎重に考えていく。

問 公共施設予約システムは近隣市町と異なるが、広域利用に支障はないのか。

答 各施設で予約をするものであり、問題はない。

問 幼稚園バス送迎における置き去り防止対策は。

答 運転手や教員による二重、三重の確認を行なっている。今後は安全装置の設置も進める。

問 児童生徒援助事業費の臨時バス運行委託料の算定根拠と対象者は。

答 1便につき5000円で年間100便と算出した。対象は相和地区の中学生32人である。

特別会計・企業会計

国民健康保険

問 国民健康保険税の減額理由は。

答 被保険者数の減少と、軽減世帯の増加が要因である。

問 短期被保険者証の発行件数は。

答 2月末時点で69世帯に発行。

問 特定健康診査の受診勧奨としてAIの利用を継続していくのか。

答 効果は見える。目標に向けて進めていく。

問 被保険者への還付金の発生理由とその時期は。

答 過年度の所得更正などを起因としており、一年を通して生じるもの。

後期高齢者医療

問 普通徴収の割合と収納状況は。

答 特別徴収への移行期間の関係から普通徴収は30%を超えているが、年金天引きとなつた場合、滞納は発生しない。

介護保険

問 保険料の更なる多段階化により負担の適正化を図る考えは。

答 次期計画を策定する際に検討する。

問 認定者数が増加することに伴い、認定結果までの期間に影響はないのか。

答 今後、審査体制が課題になると考える。

水道事業

問 水道利用加入金の増額を見込んだ理由は。

答 大井中央地区をはじめ新規開発等を勘案し、口径20ミリ管で100件を見込んだため。

問 その内訳は。

答 町外からの移住等が65件、町内転居15件、13ミリ管から20ミリ管への変更で20件を予定している。

問 水質等の検査は何項目あるのか。

答 上水57項目、原水が42項目で、うち3項目が町独自で検査を実施している。

公共下水道事業

問 一般会計からの法定外繰り入れの額は。

答 収益的収入と資本的収入のそれぞれ基準外繰り入れを合わせて9370万円ほどである。

問 法定外繰り入れ金の必要性と今後の方針は。

答 公営企業会計に移行し、経営の厳しさが見えてきた。独立採算を目指していく。

問 接続戸数を1000戸増加とした理由は。

答 建築戸数の増加や未接続の解消などを勘案し計上した。

賛成討論

伊藤奈穂子
清水 亜樹
山崎 真弘

反対討論

大石 舞

令和5年度 一般会計予算

討論

条例

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例 (賛成全員)

反対討論

町民のための施策を

さらに充実させるべき

大石 舞

本予算は光熱費や物価等の高騰が続く厳しい社会情勢の中計上された。以下5点述べる。1点目、光熱費や燃料費増に対する支援策が必要。電気代補助等の施策を打つべき。2点目、町の高齢者施策が少ない。老人福祉費は社会福祉費の1・9%と非常に低い。3点目、新たな環境施策が必要。環境衛生費における温暖化関連予算は前年度減である。4点目、今年度も待機児童が出ている。児童コミュニティクラブは利用料引き下げが可能なのか等、調査研究が必要。5点目、教育費では就学援助費が増額になったが、利用率が課題。臨時バスは運行改善が求められる。ただし使用済み紙おむつ回収やシルバークラス等、前進面も見られた。今後適切に対応頂くことを期待する。

賛成討論

町の発展を見据えた

町民福祉の取組みに期待

伊藤奈穂子

令和5年度一般会計予算の総額は59億5000万円。歳入は町民税の増額を見込み、基金の繰り入れ等により適切な予算編成となっている。歳出は、大井保育園と町立3幼稚園において使用済み紙おむつの持ち帰りをなくす取組み、給食費の据え置き、新生児スクリーニング検査費用の助成、視覚屈折検査の実施等、教育・子育て環境の充実が高く評価する。がん対策に関しては個別勸奨の取組み等、受診率の向上を大いに期待する。民泊受け入れ家庭に対して補助金の交付等、大井町の魅力を町内外に発信することは大事である。今後、使用済み紙おむつのリサイクル実現に向け努力して頂くと共に、脱炭素に向けた積極的な施策がなされることを期待し賛成討論とする。

賛成討論

堅実かつバランスの良い

予算編成を評価する

和田 紀昭

令和5年度一般会計予算額は歳入歳出それぞれ59億5000万円、前年に比べ1億6000万円、率にして2・6%減となる予算編成となっている。歳入については実績だけでなく、国や県における経済情勢の動向や、財政運営のバランス等慎重に精査した結果による堅実なものとなっている。歳出では大井町地球温暖化対策実行計画の策定等の環境対策、公立保育園や幼稚園の使用済み紙おむつの回収、給食費の物価上昇分の補助は子育て支援、また福祉では町全体の理念や仕組みとそれを実行するための行動のあり方を定める第4次地域福祉プランの策定等、一層、住民サービスが向上するものである。大井町の益々の発展を期待し賛成討論とする。

* 出産育児一時金の支給額が全国一律で引き上げられることに伴い、所要の改正をするもの。

問 出産費用が支給額の50万円を下回った場合でも満額支給されるか。

答 支給される。

問 財源の内訳は。

答 2/3は交付金。

残り1/3は国民健康保険税で賄う。

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例 (賛成全員)

* 現下の社会経済情勢に鑑み、引き続き保険税平等割額の軽減措置を講じるため、改正をするもの。

第1回定例会

問 加入者への周知方法は。
答 広報紙はもとより納税通知書の発送にあわせて周知する。

大井町道の路線の認定
 (賛成全員)

*都市計画法に基づく開発道路の路線認定等を提案するもの。

問 庁舎1階に設けた防犯カメラの記録は何日間可能なのか。また、その記録媒体は。
答 3台取付けを行い約1か月間記録可能である。記録はハードディスクに保存する。

問 第6分団が統合されたが消防団の定数の見直しは。
答 令和5年度に見直す予定である。

問 生涯学習センターの舞台吊物設備改修工事が予定額より大幅に減額されているが、理由は。
答 入札による効果であり、低入札調査も行った。事業者が物価高騰にともない、前もって材料を調達していたため、この金額で収まった。

問 公園管理委託料の減額の理由は。
答 入札執行によるものである。

問 公園管理はシルバー人材センターへの委託か。
答 シルバー人材センターには休憩所の開閉や駐車場の開閉の管理をお願いしている。植栽の管理は、他の民間事業者が行っている。

土地の取得について
 (賛成全員)

*旧いこいの村あしがら施設用地の県有地を取得するもの。

問 事業者の経営状況は把握しているのか。
答 現時点での財務諸表等の提出を求め、県と連携を行い、中小企業診断士が評価している。

問 財務諸表の提出のタイミングは。
答 四半期に一度提出

を求める予定である。

問 営業再開の用途は立っているのか。
答 人工サーフィン場は7月までの間に再開され、宿泊施設に関しては運営委託する方向で令和6年5月を目途に進めている。

問 借地料については。
答 事業用定期借地契約の中で今後協議をしていく。

問 計画が大幅に遅れているが今後はどうなるのか。
答 事業の進捗状況をしっかりと精査し報告をしていく。

請願

日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書を提出することについての請願書

(賛成4反対8)

企画経済常任委員会



大井町議会のホームページでは、一般質問の内容や委員会での活動等がご覧いただけます。



大井町議会

検索

この請願は、核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める大井町みんなの会代表風間秀泰氏他81名の連名で提出されたもので、令和4年度第4回定例会において審査し、議員の新型コロナウイルス感染症等によって、審議未了となった請願と目的を同じくするものである。本定例会においても企画経済常任委員会に付託され、9日に委員会を開催。請願者2名及び紹介議員1名からの説明を受け、慎重な審査を行った。委員会報告後、本会議において討論・採決を行い、その結果、本請願は、賛成少数で不採択と決した。

請願に関する委員会審査にあたっては、請願者から口頭陳述の申出があったため、これを許可し、質疑を行った。また、紹介議員から趣旨説明を受け、質疑を行った。審査の結果、賛成少数(賛成2反対4)により「不採択すべきもの」と決した。

請願に関する討論

反対討論

黒石陣太郎

核兵器の使用や保有などがないことは平和のうえでも非常に大切なことだと思っ
ている。そして核兵器が無いことが一番望ましい。今回の請願に際して、前回の提出を
合わせると900名を上回る署名があった
ことは重々理解をしている。しかしながら、
未だロシアによるウクライナの軍事侵攻は
終息の目途が立っていないことから、NP
T核不拡散条約の強化を行い、国の動向を
注視していくのが望ましいことから今回の
請願に対しては反対の立場から討論する。

田中 正彦

安全保障の担保、核保有国の参加が無い
等幾つかの欠陥を有する核兵器禁止条約を
批准しない日本政府を支持する立場から今
請願に反対をする。日本は中・露・北朝鮮
等核保有国と国境を接する中、日米安保条
約に基づく米国の拡大抑止の下にある。当
該禁止条約は核兵器の開発・保持から使
用・威嚇を禁止、法規制している。抑止は
即ち威嚇と同義であり、批准は即ち核の傘
からの離脱を意味し、核の脅威に晒される
こととなる。したがって、大井町議会が今
請願を採択する事は国・世界に誤ったメッ
セージを発しかねない。

賛成討論

大石 舞

この請願は前回と合わせ937筆の署名と
ともに提出された。非核平和都市宣言を採
択し平和首長会議に加盟している町の議会と
して、賛同にのたためらいが必要なのか。不
安定な国際情勢だからこそ、条約への参加が
必要だ。プーチン氏は核兵器使用をほのめか
しており、核抑止の理論はすでに破たんして
いる。また日米安保条約に核兵器に関する記
述はなく、政治決断次第で条約参加後も日米
同盟を維持できる。日本は被爆国であり、ア
メリカに条約参加を呼びかけられる唯一の国
だ。核保有国が条約に参加せずとも「人道的
軍縮」により核兵器廃絶は可能である。

重田 有紀

署名者の多くは、核兵器禁止条約について
なじみがない。日米同盟やNP T核不拡散条
約等の観点で議論された反対意見は、そんな
町民を納得させるに足るものだったか。請願
提出が今ではないというなら、いつが適時な
のか述べるべきであった。条約への批准を求
めている平和首長会議に加盟、非核平和都市
宣言を宣言する本町にあって、この請願が採
択されないとすれば、戸惑いや不安を覚える
町民がでてくる。請願者の「私たちの想いを
なかったことにしないで」この言葉を受け、
いかにしてこの想いを形にするかを軸に、採
決は下されるべきである。

第1回臨時会

1月11日に開催され、
補正予算の審議を行っ
た。

一般会計補正予算(第
5号)
(賛成全員)

* 出産・子育て応援交
付金事業費及び県有地
買収費等の計上により
歳入歳出それぞれ65億
5,669万2千円と
するもの。

議を行った。

大井町特別職の職員の
給与に関する条例の一
部を改正する条例
(賛成全員)

* ウクライナ人道危機
救援金募金箱の盗難に
関し、管理監督責任と
して特別職の給与を減
額するもの。

減額率の根拠は。
庁内での協議の中
で決定した。

工事請負契約の変更に
ついて(道路改良工
事・町道501号線)
(賛成全員)

* 工事内容の変更に伴
い、令和4年9月14日
議案第41号により議決
を得た工期の変更をす
るもの。

第2回臨時会
2月14日に開催され、
条例改正及び工事請負
契約の変更について審

変更内容は当初か
ら見込めなかったのか
中で、一部に再調整が
必要となった。

審議結果

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
田村俊二議長は、採決に加わりません。

定例会・ 臨時会の別	議案 番号	議案名	議員名（議席順） と審議結果											審議 結果		
			大石 舞	黒岩陣 太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	田中 正彦	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤奈 穂子		清水 豊司	
臨時会 第1回	1	令和4年度大井町一般会計補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
臨時会 第2回	2	大井町特別職の職員の給与に関する条例の一部を 改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	3	工事請負契約の変更について (道路改良工事・町道501号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第1回定例会	4	大井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関 する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	5	大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	6	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	7	大井町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	8	令和4年度大井町一般会計補正予算 (第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9	令和4年度大井町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	10	令和4年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予 算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	11	令和4年度大井町介護保険特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12	令和4年度大井町水道事業会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13	令和4年度大井町公共下水道事業会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14	土地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15	令和5年度大井町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16	令和5年度大井町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	17	令和5年度大井町後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18	令和5年度大井町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19	令和5年度大井町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20	令和5年度大井町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21	令和4年度大井町一般会計補正予算 (第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	22	令和4年度大井町公共下水道事業会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願 1		日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准 を求める意見書を提出することについての請願書	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択

ここが聞きたい

一般質問

Q

A

募金箱の盗難からの信頼回復は

答 強いリーダーシップを示し

信頼回復に努める



清水 豊司 議員

問 募金箱の紛失が発覚してから、議会への報告、町長の言葉での謝罪、町長の責任の表明が遅れた理由は。

町長 情報収集、日本赤十字社との事実関係の報告や記者発表の準備等で遅れた。記者発表後、町民を含め多方面からご指摘・ご批判の声をいただき、これらの声を真摯に受け止め、町長としての責任を示した上で謝罪を述べさせていたきたいと考え、1月27日に町ホームページに謝罪文

を掲載し、そして減給処分を受けることにした。

問 このような案件では、速やかな謝罪、責任の取り方、再発防止の3点の初動が大事だが発覚後の危機管理への甘さがあったと思うが。

町長 ご指摘のとおりだと思う。処分を含めたしっかりした対応を凶った上でという気持ちがあった。まずはお詫びすべきだったという反省もある。

問 この件で町民から

町政への信頼が失われたと思うが、町長は信頼回復に、今後どのような政治姿勢で臨むのか。

町長 募金をしてくださった方の暖かな気持ちを、現地に届けられなかったことの責任を痛感している。町政を預かる責任者として最終的な意思決定・判断はトップである自分であることを自覚し、強いリーダーシップを示して行く中で、町民の皆様からの信頼回復に努めて行く。



設置場所が見直された募金箱

健康ポイント制度を

導入すべきと考えるが

答 効果的であると考えている



清水 亜樹 議員

問 健康無関心層の行動変容を促すため、健康ポイント制度を導入すべきと考えるが。

町長 頑張った方にインセンティブを付与する健康アプリポイント制度の導入は効果的である。一方で、費用対効果など不透明な点もあるため、先ずは無料で利用できる県のアプリを活用した。今後、本町に合った健康アプリポイント制度の導入につなげていく。

【公共施設の防犯体制について】

問 募金箱盗難に伴い、これまでの管理の問題点は。

町長 管理マニュアル等の定めはなく、慣例で行なっていたのが現状である。職員の監視、確認体制が不足していたことや防犯対策の強度に問題があったと考えられる。

問 その後の募金箱の管理体制は。

町長 募金箱設置場所の見直しや休日等の職員が不在となる時間の

管理としては、鍵のかかる場所での保管又は現金を回収するなどとし、反省をもとに管理マニュアルを作成した。盗難防止策としては、より強固な防止策を講じた。

問 公共施設の防犯体制強化は。

町長 庁舎に3台の防犯カメラを設置した。今後は、近年の犯罪の傾向等を踏まえた上で、必要に応じ、さらなる防犯体制の強化に努める。



健康増進のため地域で行なわれたラジオ体操

法人税増収のための企業誘致は

答 大きな課題の一つとして

検討を進める必要がある



黒岩陣太郎 議員

問 酒匂川左岸に物流などの企業誘致の考えは。

町長 都市マスタープランにおいて、土地利用方針として将来的に産業機能の誘導を図る産業ゾーンとして部分的に指定しており、自然環境や田園景観に配慮した計画的な土地利用の検討を進めることとしていく。

問 県立大井高校が統廃合されると聞いているが、その後の活用は。

副町長 大井高校が城

北高校と統合されることは聞いているが、その先の利用方針は何も聞いていない。県から利用方針が出てくればそれに対応した考えは持っているが今現在、



今後の展望に期待する酒匂川左岸地区

町から県に対してアプローチを掛けることは考えていない。

道幅が狭い町道4号線



【交通安全対策について】

問 町道4号線、上大井と金子地区の境では道幅も狭く町民から拡幅などの要望が出ているが対応は。

課長 町道4号線、赤坂付近に関しては承知している。しかし課題は山積している。個人の要望ではなく原則、自治会を通して要望してもらいたい。

地域防災計画での医療体制は

答 災害時の医療救護体制を

整備している



山崎 真弘 議員

問 救急医薬品の備蓄管理についての現状と見直しの考えは。

町長 適切な時期に1市5町と共同による新たな協定締結を目指して、より効率的で実践的な救急医薬品の備蓄管理に努めていく。

問 災害時医療救護体制の現状と見直しについての考えは。

町長 各防災機関と密接に連携を図りながら、被害者の救護に万全を期するために、災害時の医療救護体制を整備している。5年ぶりの



救急医薬品の備蓄

「ウクライナ人道危機 救援金募金箱盗難における対応は」

問 対応はトップ自らが行うべきではなかったか。

町長 多くの方に多大なるご心配、ご迷惑をおかけしてしまつたことなどを考えると、自らが記者発表を行う必要があつたと反省している。

問 危機管理としての対策は。

町長 事実を受け止め、対策強化及び管理体制の見直しを行い同じ過ちを二度と繰り返すことがないように強い決意を持って対応していく。

小田町政2期目の施策を問う

答 この4年間、

全力を尽くして取り組んでいく



岡田 幸二 議員

問 公約の中で、この4年間、これは是非実施したいというものは何か。

町長 子育て環境の更なる充実が一番大事と考えている。

問 多世代交流施設の新設は、公共施設を今後30%減らすという町の計画と整合がとれていないのでは。

町長 老朽化した「ふれあい館」と「社会福祉協議会」をひとつの建物に、そして子育てカフェなどの機能を加えた施設として整備し

たい。町民や議会とも協議したなかで、未来を見据えた形で進めたい。

問 学校給食費無償化は、町長英断の元で、実施可能と考えるが。

町長 公約で段階的とした。少子化対策の一つではあるが、現状を考えると財源的に実施時期は明言しづらい。

問 関東大震災から100年、防災を自分事と捉えるには「防災小説」「防災作文」などで、防災意識を生活の中に溶け込ませること

が必要と考えるが。

町長 大変良いことだと思う。是非、実現に向けて取り組んでいけるよう考えたい。

問 町民の声を聞き、議会と議論を重ねることが大切とのことだが、タウンミーティングなど対話の機会を増やし、町政に活かしていただきたいと考えるが。

町長 できる限り町民との対話の場を作っていきたいと考えている。



対話集会（イメージ）

保育所での
使用済み紙おむつの回収は

答 5年度から予算化し準備する



大石 舞 議員

問 使用済み紙おむつ回収の対象施設は。
課長 5年度は大井保育園と町内3幼稚園。新設の子ども園も準備している。
問 就学援助制度の拡大で、どのような世帯が対象となるのか。
課長 令和4年度に非認定となったご家庭の70%、10件程度である。
問 給食費無償化を、中学校から段階的に実施しては。
町長 総合的に判断してやりたい。
問 使用済み紙おむつ

リサイクル事業は。

町長 回収方法やコストなど町民の皆さまや事業者、近隣自治体と連携を図りながら検討を行う。

問 障がい者、高齢者の住みよいまちづくりは。



保護者の願い実現へ
使用済み紙おむつ回収

町長 75歳以上高齢者に、おおいゆめバス無料利用のシルバークラスを発行する。一定基準のもとタクシー券を発行したい構想も持っている。

【オーガニック給食について】

問 食材費全体に対して、大井町産の食材は何%か。
課長 令和元年度36.6%、2年度28.3%、3年度29.5%、4年度20%程度。

問 千葉県いすみ市を参考に、若手農家さんと提携し、オーガニック食材を保育園や幼稚園の一品等から取り組めばどうか。
課長 いすみ市はオーガニックの取り組みで移住の問い合わせが700件以上きた。給食費もそれほど上がらないと聞く。難しいができないことではないと思う。

町営大繩住宅の現状と今後の計画は

答 老朽化した建物の状況を勘案し、早急な対応が必要



鈴木 磯美 議員

問 大繩住宅の現状は。
町長 3世帯が入居しており、60年が経過し劣化状況調査では早急な対応が必要であると判定が出ている。

問 第6分団の詰所の跡地利用は。
町長 使用可能な用途を整理し、地域や地権者の意向を聞き対応する。

問 第6分団の消防車両は。
町長 第2分団の消防車両との入れ替え手続き中で、旧車両は廃車等で対応する。

問 今後の対策は。
町長 引き続き地元自治会との協働による維持管理をお願いするとともに、除草作業や防草シートの維持管理を行う。

町長 農業生産者をはじめ地元自治会の皆さんの協力をお願いしたい。機械のリース助成金も創設した。

【南足柄市・足柄上ごみ処理広域化実施計画について】
問 進捗状況は。
町長 新可燃ごみ処理施設の建設予定地が南足柄市内山で決まり、今後は令和4年度の検討を踏まえ、委員会で協議し、完成目標年度は令和11年度中である。



老朽化が進む町営
大繩住宅(下山田)

路線バスの小型化や
デマンドバスの導入は

答 定時定路線を基本として
並行して検討する



和田 紀昭 議員

問 運行時間や経費を考慮してバスの小型化やデマンドバスを検討しているか。
課長 定時定路線を補完するような形で並行稼働できれば理想である。今後検討する。

問 議会報告会で金手地区のバス停がないとの声があったが改善は。
課長 金手のセブイレブン前に4月からバス停を増設する形で対応する。
問 アンケートの調査対象は。
課長 相和地区全世帯と金手曾我地区の1500世帯で調査した。
問 病院や買い物も考慮しているか。
課長 町内の医療機関にバス停を設置している。

町長 4月から福祉施策として町内在住の75歳以上に対してバスを発行する方針。
問 ノンストップバスの導入検討は。
課長 車高の課題があり現在は導入できない。今後新しいバスで課題がクリアできれば導入を検討したい。
問 長期休業中の部活等をバスに合わせてスケジューリングできないか。
課長 通常便に部活を合わせることやスクールバスで対応する等、考えられるので今後の検討材料とする。



おおいゆめバス

デフリンピックの支援は

答 ポスターを活用し啓発していく



伊藤奈穂子 議員

問 町民体育大会に障害者と一緒にできるスポーツ種目を入れる考えは。
課長 昨年と同じ形で行うのであれば取り入れたい。
問 デフリンピックの支援は。
課長 まだ国から詳細が来っていないが、当事者団体からも要望を受けた。

問 男性トイレにサニタリーボックスを設置する考えは。
課長 まずは必要性の高い多目的トイレから設置していく。
問 子育て支援について
課長 保護者の負担軽減として給食費の一部を補助する考えは。
町長 色々な方法があるが財源を見据えた中で考える。



保健福祉センターに掲示されているポスター

町長 多世代交流拠点の設置を含め検討する。
問 伴走型相談支援の体制整備として民間の力を活用する考えは。
課長 事業を行っている事業者等の案内をしていく。
問 未就園児に対し、定期的に預かり保育等ができる保育園登録制度を導入する考えは。
課長 民間の保育所等にも協力願えるよう検討する。
問 産後ドゥーラの資格取得の費用を補助する考えは。
課長 考えていない。
問 グリーフケアの体制整備は。
課長 適切な支援に繋がるよう、相談、応援、支援体制を取っていく。
問 母子手帳アプリの導入は。
課長 県のマイMEIBYOカルテと連携する形で母子健康手帳アプリが整備されている。

行政視察報告

企画経済常任委員会

2月8日から2日間、福岡県大木町と大牟田市のトータルケアシステム(株)を訪問した。

福岡県 大木町
循環型社会のまちづくりについて

企画経済常任委員会は今期の研究テーマを「町民とともに取り組む低炭素・循環型社会の実現について」とし、また調査タイトルを①資源ごみ分別収集、②生ごみの資源化、③使用済み紙おむつのリサイクルとし、①②を大木町で、③をトータルケア社でその実態を視察した。大木町ではごみ発生量の増加に伴い、焼却ごみ処理費用が町の財政を圧迫。そこで生ごみ循環構想からバ



トータルケアシステム(株)
使用済み紙おむつのリサイクルについて

イオマスタウン構想を練り上げ、平成21年迄の5年間で施設整備を行い、本格的な循環型社会づくりに入った。ごみ削減効果として毎年3千万円を計上、図書館等町の施設づくりに充当し、町民の高い評価を得ているという。

一方、トータルケアシステム社では大木町等近隣市町と協力し、医療・福祉・介護の現場から回収された使用済み紙おむつをゴミではなく資源とし、水溶化処理によってパルプ、プラスチック、汚泥類に分離、パルプは建築資材に、プラスチックや汚泥も再資源化。焼却処理に比べCO₂排出量を37%削減が可能という。大井町が目指すべき町づくりの一端を見させて貰った行政視察であった。

(田中 正彦)



教育福祉常任委員会

調査・研究テーマ「高齢者の健康増進、健康長寿の実現について」1月26日から2日間にわたり、奈良県宇陀市と京都府精華町を訪問した。

奈良県宇陀市
地域医療体制推進事業(移動診療車)について



宇陀市は高齢化率が41・8%と奈良県でも高く、重点施策として健康都市「ウエルネスシティ宇陀市」を掲げ、

ラジオ体操の普及、健康ポイント、毎月のウエルネスポイントにて推進している。そのような中、過疎化の進展もあり令和4年度より「移動診療車による医療希薄地域の解消」に取り組んでいる。レントゲンを搭載したものは全国でも類をみない、動く診療所として注目されている。



25・1%と低いにも関わらず、早い段階から「健康寿命をのばそう」「せいか365」運動を展開し、「適度な運動」「適切な食生活」を推奨している。



高齢者福祉では、フレイル対策、健康づくり・介護予防サポーター(すてき65メイト)、通いの場での健康ポイント事業などの施策を展開している。

今回の視察は大井町にとって参考となる点が多々あり、有意義な研修となった。

(岡田 幸二)

京都府精華町

「せいか365」の取り組み(高齢者福祉)について

精華町は高齢化率

町のこの人あの人

人生に、友あり、歌あり、笑いあり



河原地区
にしで てるよし 西出 輝好 さん

河原ゆめクラブ会長である西出輝好さんを紹介します。

●西出さんは三重県松阪市三雲町出身です。お仕事の関係で大井町に移り住み45年が過ぎ、奥様とはご結婚52年を迎えるそうです。会社勤務しながら、自治会長を始め、河原おどらん会会長、ふくしの会等多くの地域活動をされてきました。河原ゆめクラブには、平成23年に加入し、平成30年からは会長を務めておられます。

●河原ゆめクラブの活動は共同墓地のごみ出し、毎月の日枝神社境内と外トイレの清掃、清掃の前にはラジオ体操をします。お互いに近況を報告しながら、笑ったり時には愚痴ったり。作業をしていく中でストレス解消になるそうです。その後ペタンク練習。ペタンクは頭を使い、からだを使います。練習中は、皆の顔が素晴らしくいきいきと輝いていて、とても健康に良いと思います。他にも、懇親会での音楽やマジック

鑑賞、落語を聴いたり、カラオケをしたり、たくさんの活動をしています。

●会の活動は「いつも笑顔で健康長寿」をモットーにしており、老人クラブ等の仲間づくりが「健康長寿」にプラスの影響を与えると報告があり、地域活動に参加することはとても良いことです。



河原ゆめクラブ新年会

●西出さんは、ゆめクラブを始め地域活動では、人と人とのふれあいや繋がりがいかに大切であるかということ、大勢の方に支えられていること、人に喜びをお返ししていくこと、そしてチャレンジ精神、好奇心を失わずにいることが「人生100年時代」に、とても大切なことであると話されました。

私が大事にしたい言葉

和顔愛語
【わがんあいご】

どんな時も人に対しておだやかな笑顔を向け優しい言葉をかける。そんな人間でありたいものです。

和顔愛語

T. Mishi

町政を知る良い機会です。議会傍聴にお越しください。

第2回定例会開催 6月6日(火) 午前9時

問合せ先：議会事務局 ☎ 85-5000 FAX 83-3936

編集後記

新年度が始まりました。令和5年第1回定例会においては、9名より一般質問が活発に行われました。多くの議案が審議され、新年度予算もすべて議決されました。第6次総合計画は本年度で3年目を向かえ、議会としてもこれまで以上に、事業内容や取組み等に対しチェック機能を果たさなければなりません。引き続き、町、地域との連携や情報共有を強化し、町民の皆さまの声をしっかりと届けるために議会だよりやホームページを通じて正確な情報発信をしていきます。山崎 真弘

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 清水 亜樹
副委員長 大石 舞
委員 伊藤奈穂子
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 黒岩陣太郎